

別記様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第30回子ども・子育て会議	
開 催 日 時		令和7年10月28日（火）	開会 10時00分
			閉会 11時40分
開 催 場 所		岩出市総合保健福祉センター 3階多目的ホール	
議長(委員長・会長)の氏名		桑原 義登 委員	
出席者(委員)の氏名		北山 綾 委員、小野 ゆかり 委員、澤田 武志 委員、池田 未歩 委員、藤原 靖子 委員、寺本 亮 委員、土生川 覚弥 委員、三木 保子 委員、松本 千賀子 委員、村田 実 委員、谷本 美佐子 委員、岩崎 愛 委員、桑原 義登 委員、金川 めぐみ 委員、松本 美早子 委員、南 智明 委員、梶本 委津代 委員、西村 美穂 委員	
欠席者(委員)の氏名		木戸 晃 委員、田中 七生 委員	
説明等のために出席した者の氏名等			
事務局職員 の 職 氏 名		生涯学習課長 湯葉 美奈子、社会福祉課長 福田 勝夫、子ども家庭課長 太田 俊広、岩出市こども家庭センター長 塩中和歌子、子ども家庭課副課長 西口 朗弘、子ども家庭課 家庭支援係長 岩橋 克弥、子ども家庭課 子育て支援係長 山本 貴史	
会議事項	議題 ① 岩出市子ども・子育て会議について ② こどもの居場所づくり事業について ③ 児童虐待の状況について	会議結果 「会議の経過」のとおり	
会 議 の 経 過		別添のとおり	
会 議 資 料		別添のとおり	
会議録の確定	確定年月日	記名押印	
	令和7年11月7日	役職名 岩出市子ども・子育て会議会長	

会議の経過

議題・決定又は確認事項等
1.【開会】 10時00分 2.【委嘱状及び任命書交付】 岩出市長から委嘱状及び任命書の交付を行う。 3.【市長あいさつ】 岩出市長 中芝正幸 あいさつ 4.【委員紹介、事務局紹介】 各委員自己紹介、事務局職員紹介 5.【会長、副会長選出】 委員の互選により、会長に桑原義登委員、副会長に金川めぐみ委員が選出され承認となる。 6.【議事概要】 <事務局> 議題①岩出市子ども・子育て会議について ➤ 事務局より概要、設置経緯、役割について説明 議題②・③こどもの居場所づくり事業と児童虐待の状況について ➤ 事務局より、児童虐待の対応件数の推移と相談状況等を説明し、こどもの居場所づくり事業の実施内容等を説明 (質問 A委員) 居場所づくり事業のスタッフの募集は、メンバーが固定されないと子どもたちが年上の人と接する時に難しいことがあるのか。それとももう少し幅を広げて支援していくとかは、今どのように考えているのか。

(回答 事務局)

スタッフについては、今、委託先のスタッフと家庭支援系の職員、それと大学生のボランティアが2名から3名来ていただいている。また、子育て支援センターの保育士も手伝いに来ていただいている。

最初は、固定の方が子どもたちも色々ある子どもたちなのでいいのかと思います、1年間は様子を見ながら行っていく予定です。月1回の開催でいいのかも含め、来年度は回数やスタッフも含め考えていきたい。

(質問 会長)

他の事業とのつながりはどうか。適応指導教室などの子供を教育する教育支援センターなどの施設やこども食堂といった所とのすみ分けはどうか。

(回答 事務局)

今、対象の子どもたちは、要対協の子どもたちとさせていただいているところで、まだ対象を広く広げてはいない。今後考えていく必要はあるが、要対協に関わっている子どもたちが、今約10名程度来てくれている。居場所が必要だと思われる子どもが26・7名おり、その子どもたちが全員来れるまでにはなっていない事業であるため、こども食堂の方とも連携をしていきたいと思いますが、今のところは要対協の居場所で続けていきたいと考えている。

(回答 B委員)

教育支援センターは、教育総務課で実施していますが、昨年10月1日から教育支援センターで給食を実施することになり、そちらに給食を食べに来て勉強したり、そこでみんなと一緒に遊んだりするお子さんもいます。ここに来ているお子さんのなかには、支援事業に関わっているお子さんもいます。確かに重複してくる部分もあるので、その部分の情報の連携をもう少し密にしていきたいと考えている。

(質問 委員C)

この事業を初めて知ったが、紀の川市は今どういった取り組みをしているのか。対象の子供たちの規模であったり、進め方はどうか。

(回答 事務局)

紀の川市では、一つは貴志川の支所で行っており、麦の郷という社会福祉法人が実施しているところで、そこは岩出市と同じで要対協の子どもに市からの

声掛けで来ている。もう一つは、名手病院で実施しており、そこは土日とか休みの日にやっており、広くどんな子でも来ていいようになっている。今は二つやっており、誰でも来ていい居場所と要対協の子どもさんだけの居場所とすみ分けて実施していると聞いている。

（質問 委員C）

紀の川市は、病院がやってくれているが、岩出市ではそういった動きはないのか。

（回答 事務局）

回数を増やしたり、場所を増やすことについては、今後事業規模を見ながら必要に応じて考えていきたい。

（意見 委員D）

今日のA3のチェックシート資料を可能であればいただきたい。ファミサポでも今年から講座に必ず虐待に関する講座を盛り込むことになり、スタッフ側でも虐待をすることがないように同意書を得ている団体もある。

改めて親の虐待は密室で行われてしまう非常に難しいことだと思うが、支援者が虐待してしまうことも全国的にある。

今後、虐待については、専門的な立場で指導いただけるとは思いますが、また色々と教えていただければと思います。

（意見 副会長）

こどもの居場所づくり事業については、新しい取り組みとして非常に評価したいと思う。こどもの居場所づくりは、家庭でも学校でもなく、ちょうど斜めの場所なので、大学生のボランティアの人に来てもらうとちょっと上のお兄さんということで、自分がこうなりたいなと思う、専門職とは少し違うモデルケースになるかと思う。

こどもに役割分担はしなくていいと思う。役割は複数あって子どもが選べる方がいい。紀の川市の取組を見ると、一つは麦の郷さんが関わっているので、その後の不登校支援や引きこもり支援に繋げる関係づくりをしているのかと思う。岩出市でも色んなかたちで福祉施設や事業所を含めて得意分野があると思うので、少しでも連携して関わってもらえると広がりが出てくるのではないかと思う。

要対協の子や生活保護の子を見ると生活習慣ができていないのと共に、学習の定着が気になる。海南市では、学習支援として生活保護の家庭のこどもに家庭教師を入れて実施していて、かなり効果をあげている。

こどもの居場所づくりは、今は来てもらうだけでいいが、学習支援効果になげられるところもあるかも知れない。様子をみながら考えていただければと思う。

質問、意見以上のため議事事項終了

(事務局)

以上をもって、岩出市子ども・子育て会議を閉会する。

【閉会】

11時40分閉会